

第 58 期

事業報告書 (概要)

自 令和 5年4月 1日

至 令和 6年3月31日

鳥取空港ビル株式会社

【I】事業概況

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

第 58 期の事業概況並びに実績を次のとおりご報告いたします。

(1) 事業概況

《概況》

当期の我が国経済は、企業収益及び雇用環境の改善が続くなか、緩やかに回復しています。航空業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の位置付けが 5 類感染症に変更されたこと等を背景に、国際・国内旅客ともに好調に推移しました。

《鳥取空港》

当期の鳥取空港の利用実績（東京線）は、373,648 人（前期比 131.0%、88,334 人増、利用率 60.6%）となりました。前期は 7 月まで計画減便がありました。当期は全便就航し、新型コロナウイルス感染症の影響が無かった 2019 年度と比較すると 96%程度まで回復しました。国際チャーター便は 4 年ぶりに台湾便が就航し 1,010 人（利用率 91.3%）、また国内チャーター便も 440 人（利用率 87.3%）の利用がありました。

航空機利用者を除く空港来場者数の年間実績は 422 千人（前期比 107.5%）となっており、2019 年度の 404 千人を超える実績となりました。以下、山陰 4 空港の東京線の利用実績です。

空港名	実 績	前期比	(対 2019 年比)	増減	利用率
鳥 取	373,648 人	131.0%	(96.1%)	88,334 人増	60.6%
米 子	535,134 人	134.2%	(92.7%)	136,383 人増	64.9%
出 雲	587,779 人	120.4%	(98.5%)	99,409 人増	78.8%
石 見	130,447 人	123.7%	(92.7%)	24,996 人増	54.7%

《事業概況》

当期は、国庫補助事業：航空灯火 LED 更新事業、滑走路端安全区域（R E S A）整備事業（以下「国庫補助事業」という。）を鳥取県から受託し、本格的に事業が進んでいます。

また、4 月から営業を開始している自社売店「エアポートマルシェ きんさい屋」の改修工事が完了し、9 月にリニューアルオープンしました。

空港賑わい創出事業としましては、新型コロナウイルスの影響を受け 3 年間開催できなかった「滑走路早朝マラソン」の再開や、その他のイベント開催が増え、空港来場者数は過去最高を記録しました。

その他、前期に続いて「鳥取砂丘コナン空港カーボンニュートラル拠点化協議会」による空港脱炭素化計画の推進や「鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム」会議などを開催し積極的に課題に取り組みました。

《業績》

◆売上総利益 983,084 千円 (対前年比 130.8%)

(国内ビル部門)

- ・ 自社売店の売上金による増収
- ・ 乗降客数増加によりレンタカー歩合収入等増収

(空港管理部門)

- ・ 前述の国庫補助事業の受託収入による増収
- ・ 運営交付金の消費税の会計処理変更、電気料金高騰対策支援、テナント収入の増収

◆販売費及び一般管理費 975,602 千円 (対前年比 128.8%)

(国内ビル部門)

- ・ 自社売店の管理委託費用増加

(空港管理部門)

- ・ 国庫補助事業の委託費用による増加
- ・ 運営交付金の会計処理変更により発生した消費税相当額を、空港を拠点とした新たな事業として活用したことによる増加

◆営業利益 7,482 千円 (対前年比 —%)

◆経常利益 8,784 千円 (対前年比 —%)

◆当期純利益 19,562 千円 (対前年比 —%)

(2) 財産及び損益の状況

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売 上 高	634,221	650,861	752,077	984,045
当 期 純 利 益	△2,399	11,995	△4,226	19,562
一株当たり当期純利益	△7 円 99 銭	39 円 98 銭	△14 円 08 銭	65 円 20 銭
総 資 産	1,012,457	1,018,186	1,033,638	1,130,127

【Ⅱ】会社の概要

(1) 株式の状況（令和6年3月31日現在）

- ①発行可能株式総数 960,000株
- ②発行済株式の総数 300,000株
- ③当期末株主総数 12名
- ④主な株主

株主名	持株数	
ANAホールディングス株式会社	100,000株	33.33%
日ノ丸自動車株式会社	70,000株	23.33%
鳥取県	66,680株	22.22%
鳥取市	33,320株	11.11%
日本交通株式会社	8,000株	2.67%
日本通運株式会社	8,000株	2.67%
永瀬石油株式会社	5,000株	1.67%

(2) 従業員の状況（令和6年3月31日現在）

①従業員の数	35名
②平均年齢	47.8歳
③平均勤続年数	5.6年

(3) 役員（令和6年3月31日現在）

役職名	氏名	主たる経歴
代表取締役	中島文明	日ノ丸自動車株式会社 代表取締役社長
専務取締役	川本良則	
取締役	岸本祐二	鳥取県県土整備部 次長
取締役	岡和弘	鳥取市都市整備部 部長
取締役	澤志郎	日本交通株式会社 代表取締役社長
取締役	大島淳	日本通運株式会社 広島航空支店長
監査役	石丸文男	株式会社山陰合同銀行 特別顧問
監査役	瀬古智昭	鳥取あおぞら法律事務所 弁護士・公認会計士

【Ⅲ】貸借対照表

令和6年3月31日 現在

[単位：千円]

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	498,132	流動負債	240,506
現金及び預金	388,231	未払金	216,733
商品	165	前受金	11,173
未収入金	107,106	預り金	1,130
仮払金	2,619	未払法人税等	703
その他	11	大規模修繕費引当金	10,767
固定資産	631,995	固定負債	111,416
(有形固定資産)	613,643	敷金	10,422
建物	280,603	退職給付引当金	25,994
建物附属設備	286,029	長期借入金	75,000
構築物	2,391	負債の部合計	351,922
工具器具備品	26,804	純資産の部	
車両運搬具	1,351	株主資本	778,205
機械装置	8,058	資本金	150,000
改装費	1,675	利益剰余金	628,205
建設仮勘定	6,732	利益準備金	4,800
(無形固定資産)	1,333	(その他利益剰余金)	623,405
電話加入権	293	別途積立金	250,000
ソフトウェア	871	繰越利益剰余金	373,405
無形固定資産	169		
(投資等)	17,019		
出資金	16,841		
預託金	28		
差入保証金	150	純資産の部合計	778,205
資産の部合計	1,130,127	負債・純資産の部合計	1,130,127

【IV】 損益計算書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

[単位：千円]

科目	金額
営業収入	984,045
売上原価	961
売上総利益	983,084
販売費及び一般管理費	975,602
営業利益	7,482
営業外収益	1,527
営業外費用	225
経常利益	8,784
特別利益	20,158
特別損失	7,778
税引き前当期利益	21,164
法人税等	1,602
当期純利益	19,562